

第 118 回

2021年 7 月～9 月期

「景況調査」



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

目次

1	回答者の属性	1
2	全体の景況判断	4
	（ア） 全体の景況感	4
	（イ） 各項目の状況	6
3	主要指標のクロス分析	12
	（ア） 景況感別の動向	12
	（イ） 業種別の動向	13
	（ウ） 従業員規模別の動向	13
	（エ） 本社地区別の動向	13
4	経営上の問題点	14
5	その他の調査項目	17
	（ア） 資金繰り	17
	（イ） インボイス制度	17
	（ウ） 最低賃金引き上げについて	18
	（エ） コロナ禍等対策の新たな取り組みについて	19
6	経営指針書について	20
7	自由回答項目	22
	（ア） 景況理由	22
	（イ） 次期予想理由	29
	（ウ） 新たな取り組み	34

1 回答者の属性

このアンケートを回答したのはどのような人々か

前回から 16 件減少の 249 件。FAX 回答（扱い）は 1 件。

第 118 回:調査時期:令和3年 9 月 1 日～9 月 29 日

回収数:249 件(令和3年 8 月1日会員数 2,132 名、回収率 11.7%)

方法:edoyu アンケートシステム(Web)、及び FAX

回答方法		第117回		第118回		
No.	カテゴリ	件数	割合%	件数	割合%	構成比増減
1	WEB	265	100	248	99.6	-0.4
2	FAX	0	0	1	0.4	0.4
	サンプル数 (%ベース)	265	265	249	249	-16
1.業種		第117回		第118回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	製造業（生産財）	22	8.3	21	8.4	0.1
2	製造業（消費財）	19	7.2	18	7.2	0
3	建設業（建築）	23	8.7	20	8	-0.7
4	建設業（土木）	8	3	6	2.4	-0.6
5	建設業（設備）	17	6.4	16	6.4	0
6	商業・流通業	31	11.7	40	16.1	4.4
7	サービス業（対事業所）	78	29.4	72	28.9	-0.5
8	サービス業（対個人）	67	25.3	56	22.5	-2.8
	不明	0	0	0	0	
	サンプル数 (%ベース)	265	265	249	249	-16
2.従業員数		第117回		第118回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	0名～5名	98	37	80	32.1	-4.9
2	6名～10名	48	18.1	45	18.1	0
3	11名～20名	44	16.6	48	19.3	2.7
4	21名～30名	21	7.9	24	9.6	1.7
5	31名～50名	19	7.2	22	8.8	1.6
6	51名～100名	20	7.5	16	6.4	-1.1
7	100名以上	15	5.7	14	5.6	-0.1
	不明	0	0	0	0	0
	サンプル数 (%ベース)	265	265	249	249	-16

3.本社所在地		第117回		第118回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	福岡地区	203	67.2	155	62.2	-5
2	北九州地区	29	9.6	27	10.8	1.2
3	筑豊地区	33	10.9	36	14.5	3.6
4	県南地区	30	9.9	23	9.2	-0.7
5	福岡県外	7	2.3	8	3.2	0.9
	不明	0	0	0	0	0
	サンプル数 (%ベース)	302	302	249	249	-53
4.所属支部		第117回		第118回		
No.	支部名	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	東支部	21	8.0	21	8.5	0.6
2	福博支部	10	3.8	10	4.1	0.3
3	博多支部	24	9.1	24	9.8	0.7
4	中央支部	9	3.4	13	5.3	1.9
5	西支部	18	6.8	18	7.3	0.5
6	南支部	24	9.1	19	7.7	-1.4
7	筑紫支部	13	4.9	7	2.8	-2.1
8	福友支部	25	9.5	22	8.9	-0.5
9	青年支部	4	1.5	4	1.6	0.1
10	玄海支部	14	5.3	9	3.7	-1.6
11	かすや支部	10	3.8	11	4.5	0.7
12	糸島支部	6	2.3	5	2.0	-0.2
13	北九州支部	17	6.4	20	8.1	1.7
14	ひびき支部	5	1.9	6	2.4	0.5
15	のおがた支部	15	5.7	20	8.1	2.4
16	飯塚支部	16	6.1	13	5.3	-0.8
17	田川支部	6	2.3	2	0.8	-1.5
18	久留米支部	14	5.3	10	4.1	-1.2
19	大牟田支部	7	2.7	5	2.0	-0.6
20	有明支部	4	1.5	3	1.2	-0.3
21	りょうちく支部	2	0.8	4	1.6	0.9
	不明	1	0.4	3	1.2	0.8
	サンプル数 (%ベース)	265	264	249	246	-18

	%	サ ン プ ル 数	製 造 業 （ 生 産 財 ）	製 造 業 （ 消 費 財 ）	建 設 業 （ 建 築 ）	建 設 業 （ 土 木 ）	建 設 業 （ 設 備 ）	商 業 ・ 流 通 業	サ ー ビ ス 業 （ 対 事 業 所 ）	サ ー ビ ス 業 （ 対 個 人 ）
	合計	249	8.4	7.2	8.0	2.4	6.4	16.1	28.9	22.5
本 社 地 区	福岡地区	155	4.5	5.2	9.7	3.2	6.5	15.5	35.5	20.0
	北九州地区	27	14.8	11.1	11.1	0.0	11.1	14.8	22.2	14.8
	筑豊地区	36	8.3	11.1	0.0	0.0	2.8	25.0	11.1	41.7
	県南地区	23	26.1	13.0	8.7	4.3	8.7	8.7	17.4	13.0
	福岡県外	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	37.5
従 業 員 数 規 模	0名～5名	80	3.8	2.5	7.5	2.5	7.5	12.5	36.3	27.5
	6名～10名	45	6.7	4.4	17.8	2.2	6.7	20.0	17.8	24.4
	11名～20名	48	10.4	16.7	6.3	0.0	6.3	12.5	33.3	14.6
	21名～30名	24	12.5	12.5	4.2	8.3	12.5	8.3	16.7	25.0
	31名～50名	22	9.1	9.1	9.1	4.5	4.5	31.8	9.1	22.7
	51名～100名	16	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	18.8	37.5	12.5
	100名以上	14	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	50.0	21.4

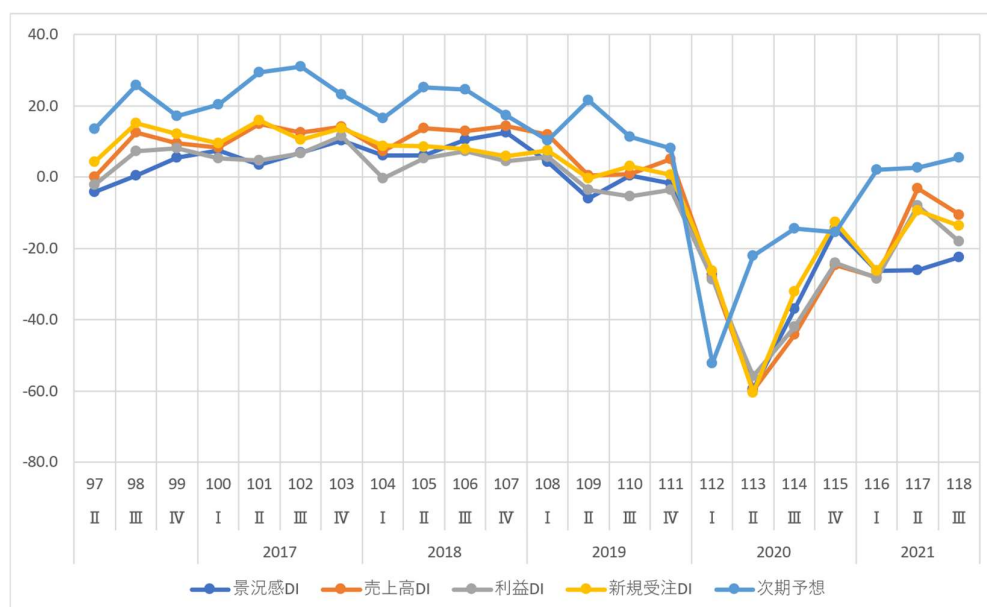
2 全体の景況判断

(ア) 全体の景況感

景況感各種 DI(よいー悪い)の状況はどうなっているか

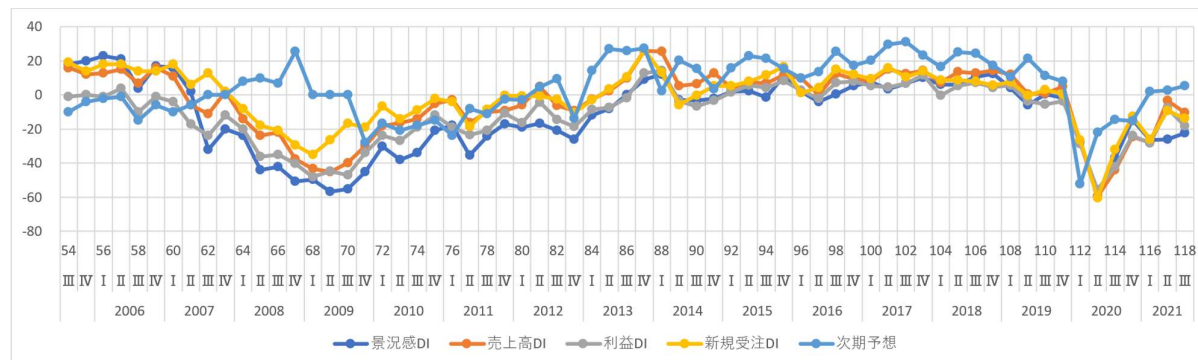
前回横ばいの景況感、次期予想は微改善。前回に 113 回との比較で V 字回復的改善をしていた売上・利益 DI はその反動的影響から数値悪化。

全体の推移



	今回数値	前回からの変動
景況感 DI	-22.5	3.5
売上高 DI	-10.5	-7.4
利益 DI	-18.1	-10.2
新規受注 DI	-13.6	-4.2
次期予想 DI	5.4	2.8

長期変動



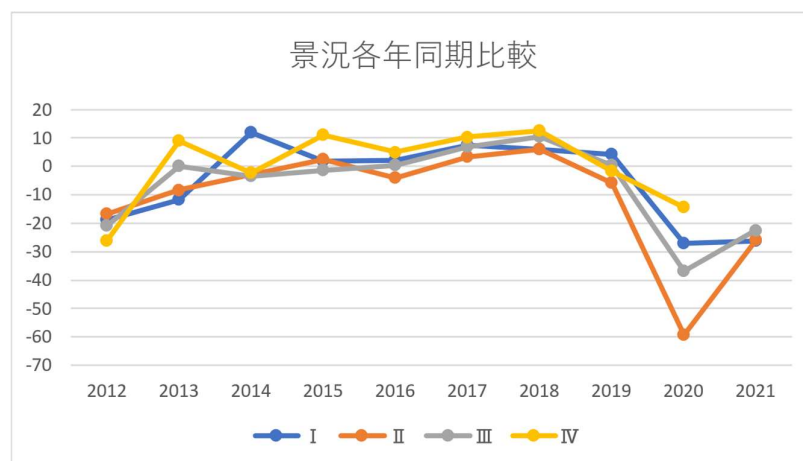
年	月	回	回収数	景況感DI	売上高DI	利益DI	新規受注DI	次期予想	資金繰りDI
2012	I	80	338	-18.9	-6.0	-16.5	-0.7	-3.0	-8.4
	II	81	437	-16.8	5.1	-4.2	-0.7	4.5	-6.3
	III	82	502	-20.9	-6.1	-14.5	-2.7	9.4	-14.7
	IV	83	357	-26.2	-9.4	-18.5	-10.2	-13.6	-16.1
2013	I	84	420	-11.7	-2.5	-8.6	-3.0	14.4	-15.8
	II	85	378	-8.3	2.4	-7.3	3.6	26.9	-8.3
	III	86	284	0.0	10.0	-1.9	10.5	25.9	0.7
	IV	87	290	9.0	25.8	13.0	26.4	27.3	0.3
2014	I	88	300	11.9	25.4	14.4	13.3	2.3	0.3
	II	89	319	-2.9	5.5	-3.6	-5.7	20.3	-5.5
	III	90	294	-3.4	6.5	-6.5	-0.3	15.4	0.4
	IV	91	319	-2.2	13.0	-3.1	5.5	3.5	-0.9
2015	I	92	359	2.0	4.3	1.7	5.5	15.7	-2.0
	II	93	298	2.4	7.6	5.8	8.0	22.9	7.4
	III	94	386	-1.3	6.7	4.2	11.7	21.5	-2.6
	IV	95	355	11.0	11.8	8.4	16.4	15.5	3.9
2016	I	96	424	2.1	10.0	2.9	1.4	9.8	未調査
	II	97	347	-4.1	0.0	-2.1	4.2	13.5	10.0
	III	98	449	0.5	12.6	7.2	15.1	25.7	6.3
	IV	99	382	5.5	9.5	8.0	12.2	17.2	5.0
2017	I	100	287	7.4	8.2	5.3	9.5	20.4	未調査
	II	101	409	3.4	14.9	4.7	16.0	29.5	6.9
	III	102	442	6.9	12.6	6.7	10.6	31.0	5.7
	IV	103	355	10.3	14.2	11.6	13.8	23.2	12.2
2018	I	104	358	6.1	7.3	-0.3	8.8	16.5	5.9
	II	105	382	6.0	13.7	5.3	8.6	25.2	9.5
	III	106	273	10.5	12.9	7.3	7.9	24.5	10.7
	IV	107	296	12.6	14.3	4.4	5.8	17.4	4.1
2019	I	108	301	4.3	11.9	5.7	7.5	10.4	1.0
	II	109	277	-5.9	0.4	-3.6	-0.4	21.6	3.3
	III	110	267	0.5	0.8	-5.4	3.1	11.3	8.7
	IV	111	307	-1.7	5.0	-3.6	0.6	8.1	5.9
2020	I	112	217	-27.2	-28.1	-28.6	-26.3	-52.2	
	II	113	254	-59.4	-59.9	-55.8	-60.5	-22.0	2.8
	III	114	298	-36.9	-44.1	-42.0	-32.2	-14.5	24.9
	IV	115	280	-14.5	-24.6	-24.0	-12.7	-15.4	26.4
2021	I	116	302	-26.3	-28.1	-28.4	-26.2	2.0	16.1
	II	117	265	-26.0	-3.1	-7.9	-9.4	2.6	17.9
	III	118	249	-22.5	-10.5	-18.1	-13.6	5.4	12.6

※資金繰りDIは73回より5段階評価

年	月	回	回収数	景況感DI	売上高DI	利益DI	新規受注DI	次期予想
2004	IV	51	343	13	11	1	16	-11
	I	52	323	12	8	-3	14	-7
	II	53	403	16	13	-1	17	-8
	III	54	390	18	16	-1	19	-10
2005	IV	55	403	20	12	0	14	-4
	I	56	271	23	13	-1	18	-2
	II	57	223	21	15	4	18	-1
	III	58	297	4	7	10	14	-15
2006	IV	59	361	17	16	-1	14	-6
	I	60	291	16	11	-4	18	-10
	II	61	355	2	-6	17	6	-6
	III	62	296	32	11	24	13	0
2007	IV	63	301	20	2	12	2	0
	I	64	440	24	14	20	-8	8
	II	65	400	44	24	36	18	10
	III	66	628	42	22	35	21	7
2008	IV	67	467	51	38	40	29	25.4
	I	68	491	50	43	46	35	0
	II	69	421	57	45	45	26	0
	III	70	475	55	40	47	17	0
2009	IV	71	413	45	30	34	19	28
	I	72	432	30	18	24	-7	8.7
	II	73	535	38	16	27	14	8.9
	III	74	485	34	14	19	-9	1.8
2010	IV	75	426	21	-5	12	-2	1.5
	I	76	349	18	-3	19	-4	24
	II	77	398	36	16	23	19	8.2
	III	78	374	24	-10	21	-9	-11
2011	IV	79	341	17	-9	11	0	-2.7
	I	80	338	19	-6	17	-1	-3
	II	81	437	17	5	-4	-1	4.5
	III	82	502	21	-6	15	-3	9.4
2012	IV	83	357	26	-9	19	10	3.6
	I	84	420	12	-3	9	-3	14.4
	II	85	378	-8	2	-7	4	26.9
	III	86	284	0	10	-2	11	25.9
2013	IV	87	290	9	26	13	26	27.3
	I	88	300	12	25	14	13	23
	II	89	319	-3	6	-4	-6	20.3
	III	90	294	-3	7	-7	0	15.4
2014	IV	91	319	-2	13	-3	6	3.5
	I	92	359	2	4	2	6	15.7
	II	93	298	2	8	6	8	22.9
	III	94	386	-1	7	4	12	21.5
2015	IV	95	355	11	12	8	16	15.5
	I	96	424	2	10	3	1	9.8
	II	97	347	-4	0	-2	4	13.5
	III	98	449	0	13	7	15	26.7
2016	IV	99	382	6	9	8	12	17.2
	I	100	287	7	8	5	10	20.4
	II	101	409	3	15	5	16	29.5
	III	102	442	7	13	7	11	31
2017	IV	103	355	10	14	12	14	23.2
	I	104	358	6	7	0	9	16.5
	II	105	382	6	14	5	9	25.2
	III	106	273	11	13	7	8	24.5
2018	IV	107	296	13	14	4	6	17.4
	I	108	301	4	12	6	8	10.4
	II	109	277	-6	0	-4	0	21.6
	III	110	267	0	1	-5	3	11.3
2019	IV	111	307	-2	5	-4	1	8.1
	I	112	217	27	28	29	26	2.2
	II	113	254	59	40	56	61	-2.2
	III	114	298	37	44	42	32	-4.5
2020	IV	115	280	15	25	24	13	15.4
	I	116	302	26	28	28	26	2
	II	117	265	26	-3	-8	-9	2.6
	III	118	249	23	11	18	-14	12.6

2004 年第Ⅳ期(51 回)からの長期推移イメージは右上表のとおり。また景況感は現況判断のため、同期比較すると以下のような推移となっている。

	I	II	III	IV
2012	-19	-17	-21	-26
2013	-12	-8.3	0	9
2014	11.9	-2.9	-3.4	-2.2
2015	2	2.4	-1.3	11
2016	2.1	-4.1	0.5	5
2017	7.4	3.4	6.9	10.3
2018	6.1	6	10.5	12.6
2019	4.3	-5.9	0.5	-1.7
2020	-27	-59	-37	-15
2021	-26	-26	-23	



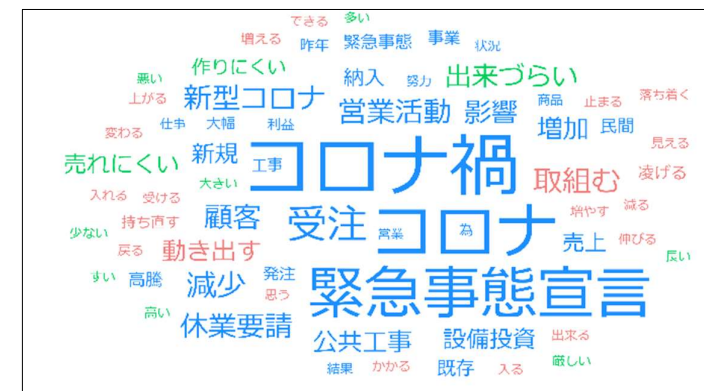
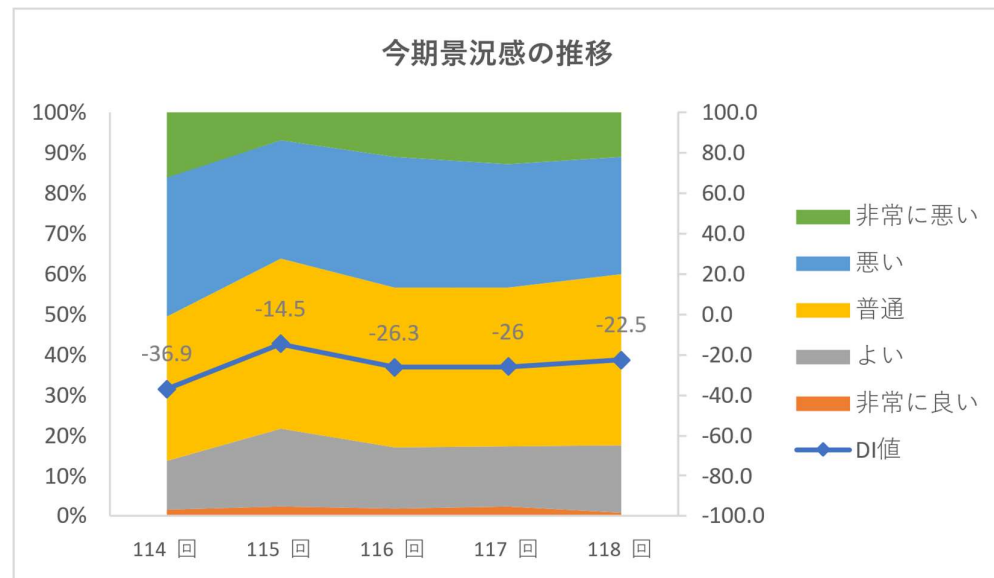
(イ) 各項目の状況

今期景況感 DI

2021 年 7～9 月期の貴社の景況判断はいかがでしたか。

前回より 3.5pt 改善し -22.5 となった。構成比でみると「悪い」側から「普通」へ遷移している。

5.今期景況判断		第117回	DI値	-26	第118回	DI値	-22.5		+3.5
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減	
1	非常に良い	6	2.3	17.4	2	0.8	17.5	-1.5	+0.1
2	よい	39	15.1		41	16.7		+1.6	
3	普通	101	39.1	39.1	104	42.4	42.4	+3.3	
4	悪い	79	30.6	43.4	71	29	40	-1.6	-3.4
5	非常に悪い	33	12.8		27	11		-1.8	
	不明	7			4				
	サンプル数 (%ベース)	265	258		249	245		-13	

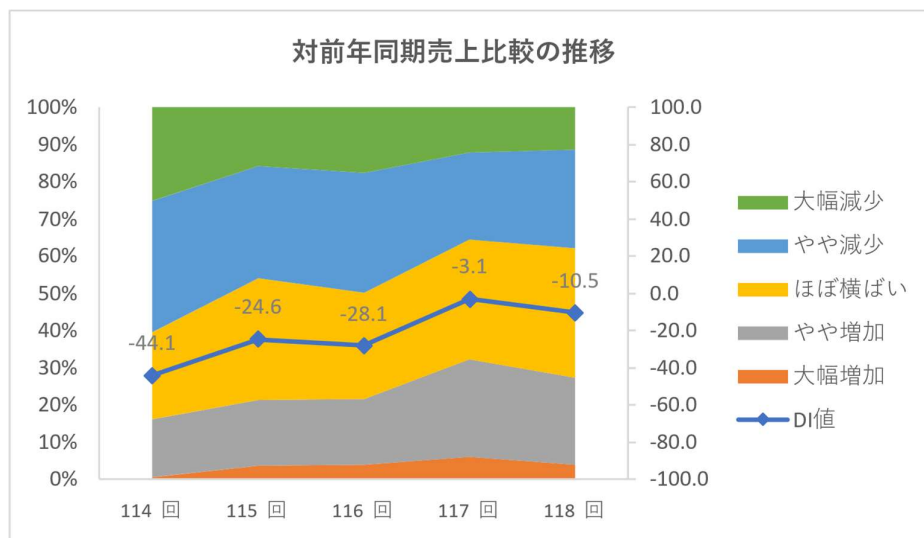


売上高 DI

2021 年 7～9 月期の貴社の「売上高」について、前年同期(2020 年 7～9 月期)に比較してお答えください。

前回の 25pt 改善から今回は 7.4pt の悪化となった。売上の「増加」側から「横ばい」と「減少」側へ移行した

6.対前年同期売上高比較		第117回	DI値	-3.1	第118回	DI値	-10.5	-7.4
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	大幅増加	16	6.1	32.4	10	4.1	-2.0	-5.0
2	やや増加	69	26.3		57	23.3	-3.0	
3	ほぼ横ばい	84	32.1	32.1	85	34.7	+2.6	
4	やや減少	61	23.3	35.5	65	26.5	+3.2	+2.4
5	大幅減少	32	12.2		28	11.4	-0.8	
	不明	3			4			
	サンプル数 (%へ -ス)	265	262		249	245	-17	



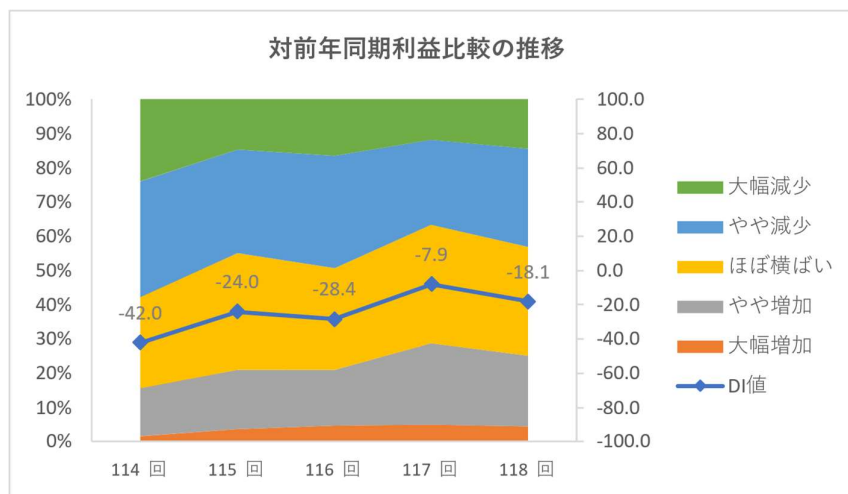
	景況理由 pickup「売上」	業種
よい	得意先が増えたから売上がアップした。社員の退職により人件費が減ったため利益が増えた	サービス業 (対個人)
普通	コロナによりクライアント売上減少による	サービス業 (対事業所)
普通	売上は製造業は大きく落ち込みはしていないが、伸びてもない。ただし、鋼材価格の値上がりが起こり、顧客への単価への転嫁が間に合っていない。	製造業 (生産財)
悪い	コロナの影響で販売店の売上が大きく低下した事が影響した。	商業・流通業
悪い	粗利の高い事業への売上構成比変更挑戦中	商業・流通業

利益 DI

2021 年 7～9 月期の貴社の「利益」について、前年同期((2020 年 7～9 月期))に比較してお答えください。

前回の 20.5pt 改善から今回 10.2pt の悪化となった。利益が「減少」側が 6.6pt 増加している。

7.対前年同期利益比較		第117回	DI値	-7.9	第118回	DI値	-18.1	-10.2
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	大幅増加	13	5	28.7	11	4.5	-0.5	-3.6
2	やや増加	62	23.7		50	20.6	-3.1	
3	ほぼ横ばい	91	34.7	34.7	77	31.7	-3.0	
4	やや減少	65	24.8	36.6	70	28.8	+4.0	+6.6
5	大幅減少	31	11.8		35	14.4	+2.6	
	不明	3			6			
	サンプル数 (%へ -s)	265	262		249	243	-19	



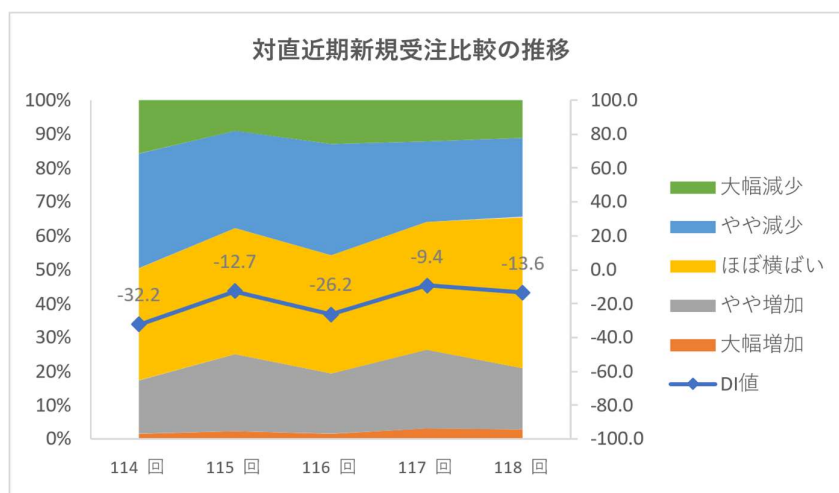
	景況理由 Pickup「益」	
よい	得意先が増えたから売上がアップした。社員の退職により人件費が減ったため利益が増えた	サービス業(対個人)
非常に悪い	コロナ禍でブライダル事業をやっていたが壊滅的だったので、美容室を昨年11月に出店。売り上げは上がったが緊急事態宣言により美容室予約の減少、固定費が多く出るようになったため、利益は大幅減少。昨年は緊急補助金(雑収入)が200万でていた。	サービス業(対個人)
悪い	売上・利益とも、昨年7月～9月が最低で、少し回復した。	サービス業(対事業所)
悪い	人材採用費に経費がかかり利益を圧迫	サービス業(対事業所)
非常に悪い	売上、利益増加は取扱商品の相場上昇により。業況、新規受注はコロナの影響なのか？	商業・流通業

新規受注 DI

2021 年 7～9 月期の貴社の「新規受注」について、直近期(2021 年 4～6 月期)に比較してお答えください。

前回の 16.8pt 改善から今回は 4.2pt 悪化となった。「やや増加」などから「横ばい」へ移行している。

8.対直近期新規受注比較		第117回	DI値	-9.4	第118回	DI値	-13.6	-4.2
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	大幅増加	8	3.1	26.4	7	2.9	-0.2	-5.5
2	やや増加	60	23.3		44	18	-5.3	
3	ほぼ横ばい	97	37.7	37.7	109	44.7	+7.0	
4	やや減少	61	23.7	35.8	57	23.4	-0.3	-1.3
5	大幅減少	31	12.1		27	11.1	-1.0	
	不明	8			5			
	サンプル数 (%へ -s)	265	257		249	244	-13	



	景況理由 pickup「受注」	
よい	コロナを受けて、新規受注の伸びは少ないものの、既存取引先などが従来の状況に戻りつつあるため	サービス業 (対事業所)
よい	大工事の受注があった	建設業 (設備)
よい	公共工事の新規受注増・建設会社からの下請工事受注増による	建設業 (設備)
よい	昨年度コロナ禍で受注が止まっていたものが、今年度に動き出している	製造業 (生産財)
悪い	HP からの民間需要の商材の新規受注が増えた	製造業 (生産財)
悪い	雨が、多く、受注も、仕事もできない状態。	建設業 (建築)

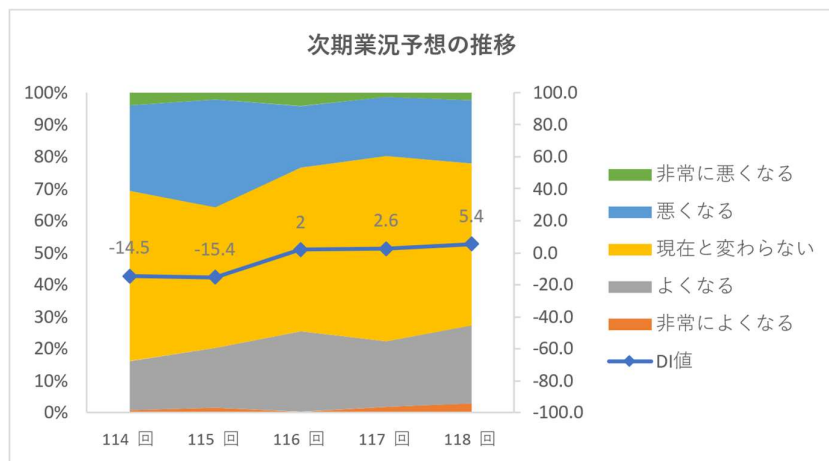
次期予想 DI

2021 年 7～9 月期の貴社の業況をどのように予想されていますか。

前回 0.6pt 改善に対し、今回は 2.8pt 増の DI 値 5.4 となった。

10.次期業況予想		第117回	DI値	2.6	第118回	DI値	5.4	+2.8
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	非常によくなる	5	1.9	22.3	7	2.9	27.4	+1.0
2	よくなる	53	20.4		60	24.5		+4.1
3	現在と変わらない	151	58.1	58.1	124	50.6	50.6	-7.5
4	悪くなる	48	18.5	19.7	48	19.6	22	+1.1
5	非常に悪くなる	3	1.2		6	2.4		+1.2
	不明	5			4			
サンプル数 (%ベース)		265	260		249	245		-15

10.次期業況予想 × 5.今期景況判断



上段:度数 下段:%		10.次期業況予想					
		合計	非常によくなる	よくなる	現在と変わらない	悪くなる	非常に悪くなる
5.今期景況判断	合計	242	7	60	122	47	6
		100.0	2.9	24.8	50.4	19.4	2.5
	非常に良い	2	1	1	-	-	-
		100.0	50.0	50.0	-	-	-
	よい	40	3	20	15	2	-
		100.0	7.5	50.0	37.5	5.0	-
普通		103	2	20	65	15	1
		100.0	1.9	19.4	63.1	14.6	1.0
	悪い	71	-	13	33	23	2
		100.0	-	18.3	46.5	32.4	2.8
	非常に悪い	26	1	6	9	7	3
		100.0	3.8	23.1	34.6	26.9	11.5

景況理由



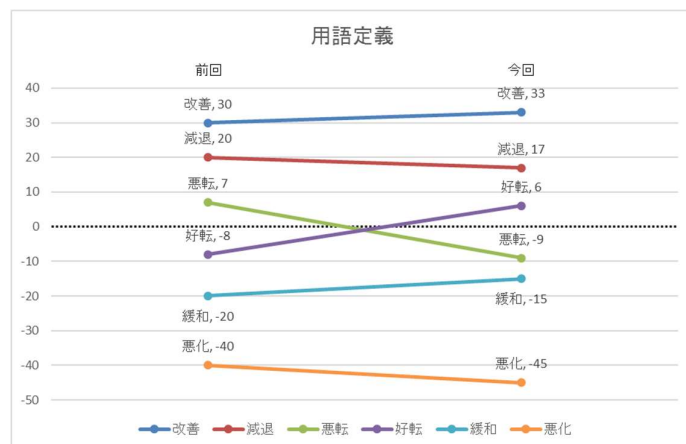
名詞	スコア	出現頻度
コロナ禍	173.27	15
コロナ	149.10	41
緊急事態宣言	134.75	12
受注	69.46	24
減少	34.23	14
新型コロナ	27.69	3
休業要請	27.69	3
営業活動	26.51	5
顧客	25.70	11
影響	21.51	34
増加	21.22	12
外出自粛	17.29	2
コロナウィルス	17.29	2
公共工事	15.54	3
設備投資	13.71	4

※ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析

※「スコア」は TF-IDF 法による特徴重みづけ処理による

3 主要指標のクロス分析

			DI値増加	DI値減少		
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正	好転
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負	悪転



本クロス分析では「よい」・「悪い」の差である DI 値を前回数値と比較した変動と合わせて評価している。

以下の表中カッコ内は前回との差であり太字は前回 DI 値から符号反転したことを示している。

DI 値がプラスである場合はよい回答が多いことを示しているため、前回より値が減少してもプラスである限りは全体の趨勢としてはまだ良であることを表している。

(ア) 景況感別の動向

景況感の良し悪しはその他の指標とどのような関係にあったか

前回 V 字回復的改善のあった売上高・利益 DI はその反動からやや悪化しているが、「普通」層でもプラス域となっており、景況 DI は微改善となっている。ただし新規受注 DI は悪転している。

	第118回	景況件数	景況DI構成比	売上高DI値	利益DI値	新規受注DI値	次期予想DI値	件単位
有効回答数		245	100%	244	242	243	242	
非常に良い	2	0.8%(-1.5)	100(0)	100(0)	100(0)	0(-83.3)	100(50)	50.0
よい	41	16.7%(1.6)	65.9(-13.1)	65.9(-11.1)	68.3(6.1)	52.5(31.4)		2.4
普通	104	42.4%(3.3)	7.8(-14.2)	2(-14)	-3.8(-11.9)	5.8(-1.2)		1.0
悪い	71	29%(-1.6)	-59.2(-2.2)	-72.9(-10.8)	-45.7(0.4)	-16.9(-11.8)		1.4
非常に悪い	27	11%(-1.8)	-77.8(-11.1)	-88.9(-19.2)	-92.3(-18.1)	-11.5(4.1)		3.7

(イ) 業種別の動向

業種別の各指標の状況はどのようなであったか

建築、商業流通業などにおいて悪転した DI 値が散見される。一方土木・設備の受注で好転があったほか、次期予想は全体的にプラス域である。

第118回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
クロス回答数		245(-13)	245(-17)	243(-19)	244(-13)	245(-15)	
全体	249	-22.4(3.5)	-10.6(-7.6)	-18.1(-10.1)	-13.5(-4.2)	5.3(2.6)	0.4
製造業（生産財）	21	-10(21.8)	-4.8(4.8)	0(19)	-4.8(-9.3)	9.5(0.4)	4.8
製造業（消費財）	18	-38.9(11.1)	-16.7(20.2)	-27.8(9.1)	-44.4(2.9)	5.9(17)	5.6
建設業（建築）	20	-25(-16.3)	-40(-48.7)	-40(-40)	0(-9.1)	10(1.3)	5.0
建設業（土木）	6	-16.7(-2.4)	20(32.5)	-16.7(-4.2)	33.3(58.3)	20(34.3)	16.7
建設業（設備）	16	0(29.4)	-12.5(11)	-18.8(4.8)	6.3(35.7)	0(-6.3)	6.3
商業・流通業	40	-40(-10)	-17.5(-34.2)	-36.8(-40.1)	-20(-0.6)	-2.5(10.4)	2.5
サービス業（対事業所）	72	-21.1(2.9)	0(2.6)	-1.4(-0.1)	-14.1(-18.1)	2.8(-2.4)	1.4
サービス業（対個人）	56	-16.7(7.6)	-11.1(-12.6)	-22.6(-15.1)	-17(-4.5)	10.7(3.1)	1.8

(ウ) 従業員規模別の動向

従業員規模の大小は各指標でどのような差が表れたか

売上 DI がプラス域であったのは 51 名以上で、50 名以下はマイナス域であった。一方景況感としては 20 名以下において悪化緩和がみられる。次期予想は好転もあるが 31～100 名で悪転している。

第118回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
クロス回答数		245(-13)	245(-17)	243(-19)	244(-13)	245(-15)	
全体	249	-22.4(3.5)	-10.6(-7.6)	-18.1(-10.1)	-13.5(-4.2)	5.3(2.6)	0.4
従業員規模							
0名～5名	80	-17.7(9.2)	-16.7(-5.3)	-19(-3.7)	-15.4(-3.9)	9.1(12.2)	1.3
6名～10名	45	-26.7(4.6)	-17.8(-7.4)	-33.3(-18.8)	-17.8(1)	2.2(6.4)	2.2
11名～20名	48	-35.4(6.4)	-10.4(-5.9)	-14.6(-3.2)	-21.3(-6.3)	4.3(-7.4)	2.1
21名～30名	24	-21.7(-2.7)	-12.5(-27.5)	-4.3(-9.3)	-16.7(-2.4)	16.7(26.2)	4.2
31名～50名	22	-9.1(1.4)	-4.5(-25.6)	-33.3(-43.9)	0(0)	-13.6(-18.9)	4.5
51名～100名	16	-18.8(-13.8)	6.3(1.3)	0(-5.3)	0(-21.1)	-6.3(-32.6)	6.3
100名以上	14	-16.7(-2.4)	25(10.7)	9.1(-5.2)	8.3(1.2)	21.4(1.4)	7.1

(エ) 本社地区別の動向

地区別ではどのような状況であったか

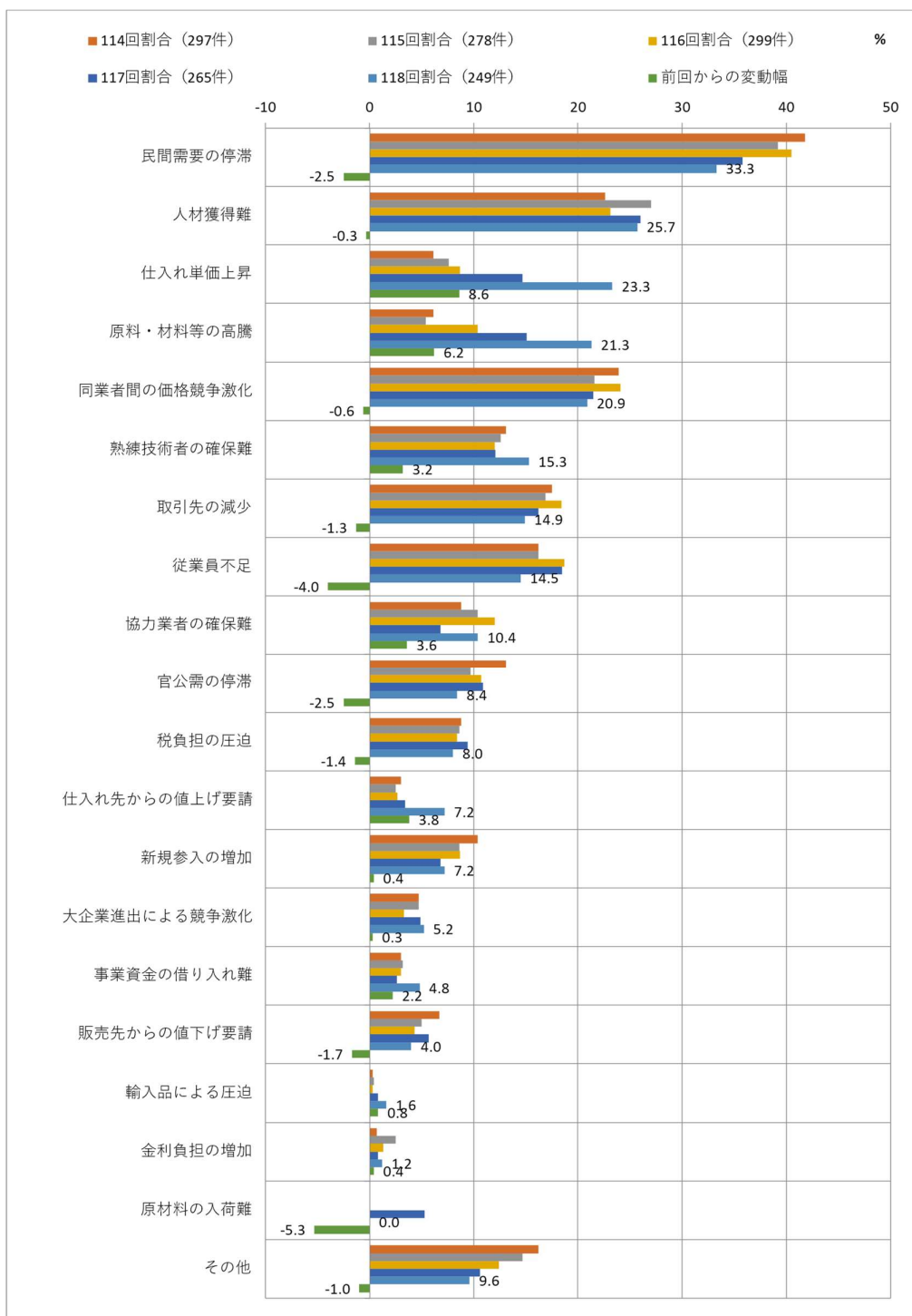
マイナス域または悪転の DI が多いが、景況 DI としては悪化緩和した地区が多い。

第118回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
クロス回答数		245(-13)	245(-17)	243(-19)	244(-13)	245(-15)	
全体	249	-22.4(3.5)	-10.6(-7.6)	-18.1(-10.1)	-13.5(-4.2)	5.3(2.6)	0.4
本社地区							
福岡地区	155	-23.7(2.2)	-14.6(-14.6)	-22.7(-16.6)	-14.6(-8.9)	7.2(1)	0.6
北九州地区	27	-33.3(4.8)	-25.9(-3.2)	-23.1(-0.3)	-19.2(12.6)	0(22.7)	3.7
筑豊地区	36	-16.7(0.5)	-5.6(-11.1)	-11.1(-11.1)	-16.7(-5.9)	-13.9(-11.2)	2.8
県南地区	23	-13.6(18.6)	8.7(21.6)	-4.3(19)	-4.3(12.3)	8.7(15.1)	4.3
福岡県外	8	-12.5(-1.4)	37.5(48.6)	12.5(1.4)	12.5(0)	62.5(6.9)	12.5

4 経営上の問題点

貴社において、現在の経営上の問題点の内、特に厳しいもの3項目までを選んでご回答ください。

民間需要停滞は最上位であるが、仕入れ単価上昇や原材料高騰などが上昇している。



■問題点自由回答

コロナ関係

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. コロナ | 7. 社員教育 |
| 2. コロナ | 8. 受注が読めない |
| 3. コロナにより休業 | 9. 人件費の上昇 |
| 4. 一部部品の不足による、発注の凍結。 | 10. 人材教育 |
| 5. 関連官庁からの電子化要請 | 11. 特になし |
| 6. 緊急事態宣言のため営業ができない | 12. 特になし |

本社地区別の経営上の問題点						
%	全体	福岡地区	北九州地区	筑豊地区	県南地区	福岡県外
回答件数	249	155	27	36	23	8
民間需要の停滞	33.3	34.2	37.0	30.6	34.8	12.5
人材獲得難	25.7	20.0	22.2	38.9	39.1	50.0
仕入れ単価上昇	23.3	20.6	25.9	25.0	30.4	37.5
原料・材料等の高騰	21.3	21.9	25.9	19.4	21.7	0.0
同業者間の価格競争激化	20.9	21.3	25.9	19.4	13.0	25.0
熟練技術者の確保難	15.3	15.5	11.1	16.7	13.0	25.0
取引先の減少	14.9	16.8	11.1	16.7	8.7	0.0
従業員不足	14.5	14.8	7.4	16.7	8.7	37.5
協力業者の確保難	10.4	10.3	14.8	2.8	21.7	0.0
官公需の停滞	8.4	8.4	3.7	8.3	17.4	0.0
税負担の圧迫	8.0	6.5	18.5	11.1	0.0	12.5
仕入れ先からの値上げ要請	7.2	5.2	11.1	8.3	17.4	0.0
新規参入の増加	7.2	7.1	7.4	5.6	13.0	0.0
大企業進出による競争激化	5.2	5.2	7.4	5.6	0.0	12.5
事業資金の借り入れ難	4.8	5.8	0.0	5.6	0.0	12.5
販売先からの値下げ要請	4.0	3.9	7.4	2.8	4.3	0.0
輸入品による圧迫	1.6	1.9	3.7	0.0	0.0	0.0
金利負担の増加	1.2	1.3	0.0	2.8	0.0	0.0
その他	9.6	9.7	14.8	2.8	13.0	12.5
各業種別回答数に対するパーセント						
色付きセルは業種別の上位五項目						

業種別の経営上の問題点									
%	全体	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
回答件数	249	21	18	20	6	16	40	72	56
民間需要の停滞	33.3	33.3	55.6	20.0	33.3	25.0	32.5	40.3	25.0
人材獲得難	25.7	47.6	16.7	15.0	50.0	25.0	25.0	29.2	17.9
仕入れ単価上昇	23.3	23.8	44.4	25.0	0.0	31.3	50.0	6.9	17.9
原料・材料等の高騰	21.3	47.6	38.9	30.0	33.3	25.0	30.0	5.6	14.3
同業者間の価格競争激化	20.9	28.6	22.2	40.0	0.0	12.5	37.5	19.4	5.4
熟練技術者の確保難	15.3	28.6	11.1	25.0	50.0	43.8	2.5	11.1	10.7
取引先の減少	14.9	23.8	5.6	5.0	0.0	6.3	22.5	15.3	16.1
従業員不足	14.5	9.5	11.1	10.0	16.7	12.5	12.5	15.3	19.6
協力業者の確保難	10.4	0.0	5.6	45.0	16.7	37.5	2.5	11.1	0.0
官公需の停滞	8.4	4.8	16.7	5.0	50.0	6.3	2.5	12.5	3.6
税負担の圧迫	8.0	4.8	5.6	0.0	0.0	6.3	5.0	9.7	14.3
仕入れ先からの値上げ要請	7.2	9.5	11.1	20.0	0.0	12.5	12.5	0.0	5.4
新規参入の増加	7.2	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.0	12.5	10.7
大企業進出による競争激化	5.2	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	10.0	6.9	5.4
事業資金の借り入れ難	4.8	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.6	8.9
販売先からの値下げ要請	4.0	4.8	11.1	5.0	0.0	0.0	0.0	6.9	1.8
輸入品による圧迫	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	4.2	0.0
金利負担の増加	1.2	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	2.5	1.4	0.0
その他	9.6	4.8	5.6	10.0	16.7	12.5	7.5	8.3	14.3
各業種別回答数に対するパーセント									
色付きセルは業種別の上位五項目									

5 その他の調査項目

(ア) 資金繰り

	11.資金繰り	第117回DI	17.9	第118回DI	12.6	-5.3
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	余裕あり	54	20.5	50	20.4	-0.1
2	やや余裕あり	47	17.9	41	16.7	-1.2
3	普通	108	41.1	94	38.4	-2.7
4	やや窮屈	40	15.2	47	19.2	4.0
5	窮屈	14	5.3	13	5.3	0.0
	不明	2	0	4	0	0.0
	サンプル数 (%ベース)	265	263	249	245	-18

資金繰りは二けたプラス域であるが減退傾向である。

(イ) インボイス制度

	14.インボイス制度について	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	知っている	121	49.8	48.6
2	知らない	122	50.2	49
	不明	6		2.4
	サンプル数 (%ベース)	249	243	100

半数が知らないと回答している

	15.インボイス制度対象事業者	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	対象事業者であり対策を考えている	43	18	17.3
2	対象事業者であるが対策は考えていない	38	15.9	15.3
3	対象事業者ではない	60	25.1	24.1
4	対象事業者かどうか分からない	98	41	39.4
	不明	10		4
	サンプル数 (%ベース)	249	239	100

対象事業者かどうか分からないという基本的認識の不足が4割程度存在している。

		合計	知っている	知らない	合計	対象事業者であり 対策を考えている	対象事業者である が対策は考えていない	対象事業者ではない	対象事業者かどうか分からない
1 ・ 業 種	合計	100	49.8	50.2	100	18.0	15.9	25.1	41.0
	製造業（生産財）	100	35.0	65.0	100	14.3	9.5	14.3	61.9
	製造業（消費財）	100	33.3	66.7	100	11.8	11.8	29.4	47.1
	建設業（建築）	100	63.2	36.8	100	25.0	15.0	25.0	35.0
	建設業（土木）	100	60.0	40.0	100	-	40.0	20.0	40.0
	建設業（設備）	100	56.3	43.8	100	26.7	13.3	26.7	33.3
	商業・流通業	100	53.8	46.2	100	11.1	16.7	27.8	44.4
	サービス業（対事業所）	100	49.3	50.7	100	24.3	17.1	22.9	35.7
	サービス業（対個人）	100	50.9	49.1	100	14.5	16.4	29.1	40.0
	合計	100	49.8	50.2	100	18.0	15.9	25.1	41.0
2 ・ 従 業 員 数	0名～5名	100	40.5	59.5	100	12.8	16.7	25.6	44.9
	6名～10名	100	43.2	56.8	100	16.3	14.0	23.3	46.5
	11名～20名	100	61.7	38.3	100	25.5	17.0	23.4	34.0
	21名～30名	100	54.2	45.8	100	18.2	18.2	27.3	36.4
	31名～50名	100	68.2	31.8	100	28.6	14.3	23.8	33.3
	51名～100名	100	46.7	53.3	100	12.5	25.0	18.8	43.8
	100名以上	100	50.0	50.0	100	16.7	-	41.7	41.7
	合計	100	49.8	50.2	100	18.0	15.9	25.1	41.0

(ウ) 最低賃金引き上げについて

	16.最低賃金引き上げについて	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	知っている	207	84.8	83.1
2	知らない	37	15.2	14.9
	不明	5		2
	サンプル数 (%ベース)	249	244	100

		合計	知っている	知らない
1 ・ 業 種	合計	100	84.8	15.2
	製造業（生産財）	100	81.0	19.0
	製造業（消費財）	100	88.2	11.8
	建設業（建築）	100	70.0	30.0
	建設業（土木）	100	100.0	-
	建設業（設備）	100	73.3	26.7
	商業・流通業	100	80.0	20.0
	サービス業（対事業所）	100	90.1	9.9
	サービス業（対個人）	100	89.1	10.9
	合計	100	84.8	15.2
2 ・ 従 業 員 数	0名～5名	100	78.9	21.1
	6名～10名	100	82.2	17.8
	11名～20名	100	83.3	16.7
	21名～30名	100	95.7	4.3
	31名～50名	100	86.4	13.6
	51名～100名	100	93.8	6.3
	100名以上	100	100.0	-
	合計	100	84.8	15.2

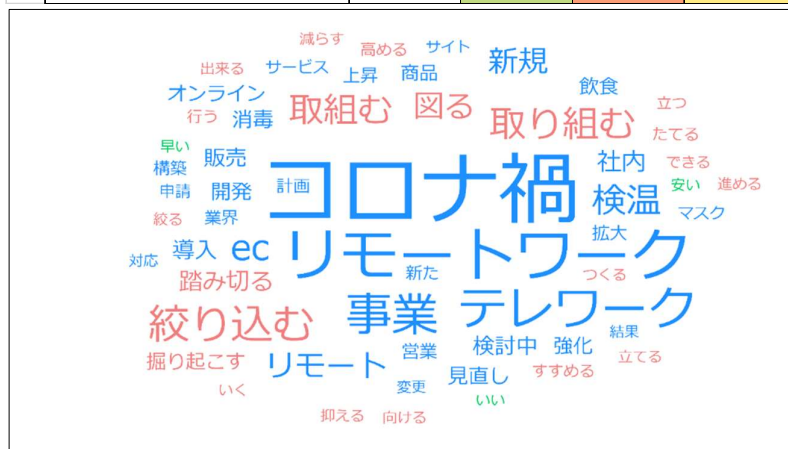
おおむね認知されているが、0名～5名で約20%「知らない」と回答しているなどの現状がある。

(エ) コロナ禍等対策の新たな取り組みについて

No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	行っている	84	34	33.7
2	具体的計画がある	37	15	14.9
3	行っていない	126	51	50.6
	不明	2		0.8
	サンプル数 (%ベース)	249	247	100

		合計	行っている	具体的計画がある	行っていない
1 ・業種	合計	100%	34.0%	15.0%	51.0%
	製造業（生産財）	100%	14.3%	14.3%	71.4%
	製造業（消費財）	100%	16.7%	22.2%	61.1%
	建設業（建築）	100%	25.0%	10.0%	65.0%
	建設業（土木）	100%	20.0%	20.0%	60.0%
	建設業（設備）	100%	25.0%	6.3%	68.8%
	商業・流通業	100%	47.5%	10.0%	42.5%
	サービス業（対事業所）	100%	40.8%	12.7%	46.5%
	サービス業（対個人）	100%	35.7%	23.2%	41.1%
2 ・従業員数	合計	100%	34.0%	15.0%	51.0%
	0名～5名	100%	21.8%	17.9%	60.3%
	6名～10名	100%	37.8%	20.0%	42.2%
	11名～20名	100%	37.5%	14.6%	47.9%
	21名～30名	100%	41.7%	12.5%	45.8%
	31名～50名	100%	40.9%	9.1%	50.0%
	51名～100名	100%	37.5%	0.0%	62.5%
	100名以上	100%	50.0%	14.3%	35.7%

ほかの属性と比較して、製造業・建設業や 0～5 名・51～100 名規模において新たな取り組みが行われていない。



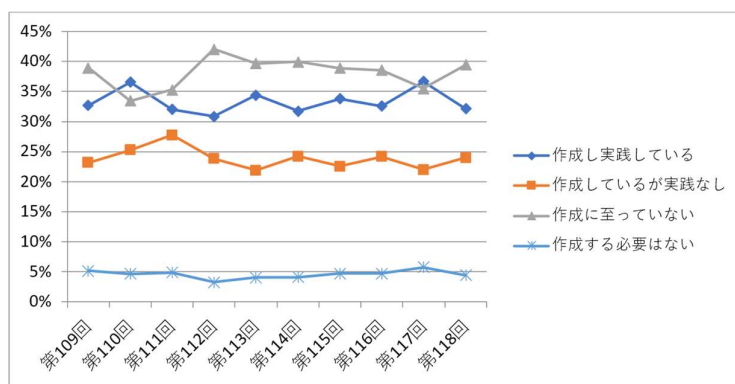
※ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析

6 経営指針書について

作成の状況

経営指針書を作成していますか。また、指針書に基づいた経営を実践していますか。

	経営指針書の作成と実践	第117回		第118回		増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	95	36.7	79	32.1	-4.6
2	作成しているが実践なし	57	22	59	24	2
3	作成に至っていない	92	35.5	97	39.4	3.9
4	作成する必要はない	15	5.8	11	4.5	-1.3
	不明	6	0	3	0	
	サンプル数（%ベース）	265	259	249	246	-13



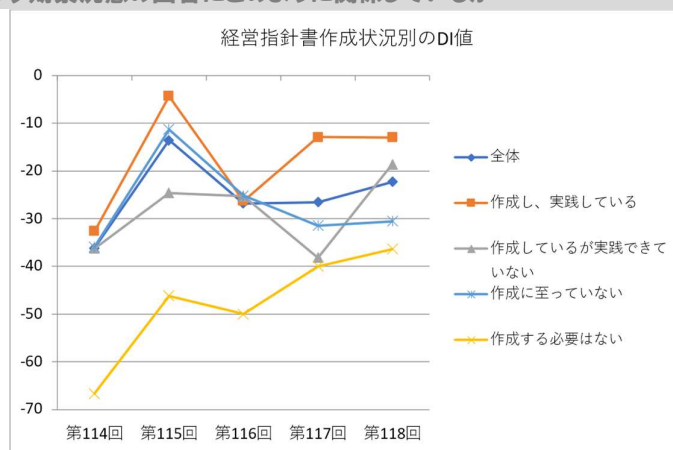
検証状況

「作成し実践している」と回答された方にお尋ねします。毎月、検証(チェック)していますか。

	20.経営指針書の検証について	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	36	46.8	14.5
2	毎月ではないが検証している	25	32.5	10
3	年に1回は検証している	14	18.2	5.6
4	全く検証していない	2	2.6	0.8
	不明	172		69.1
	サンプル数（%ベース）	249	77	100

経営指針書の成果

経営指針書の活用は今期景況感の回答にどのように関係しているか



各指標 DI の状況

	第118回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		242(-10)	242(-14)	240(-16)	241(-10)	243(-13)	
全体	242		-22.3(4.3)	-10.3(-6.4)	-17.9(-9.7)	-13.3(-3.7)	5.8(2.2)	0.4
指針書別								
作成し、実践している	77		-13(-0.1)	2.6(-8.2)	-6.8(-12.2)	5.2(0.8)	25.3(20)	1.3
作成しているが実践できていない	59		-18.6(19.5)	-10.3(18.2)	-16.9(11.1)	-12.3(17.5)	-3.4(3.6)	1.7
作成に至っていない	95		-30.5(0.9)	-20.8(-18.7)	-28.1(-21.6)	-28.1(-18)	-4.3(-13.1)	1.1
作成する必要はない	11		-36.4(3.6)	-9.1(4.2)	-9.1(17.6)	-18.2(-4.8)	0(0)	9.1

7 自由回答項目

(ア) 景況理由

	5.今期景況 判断	1.業種	2.従業員数	3.本社所在地	9.景況判断理由
1	非常に良い	製造業（消費財）	11名～20名	筑豊地区	既存製品の受注増で、新規受注が出来ない状況にあるため。
2	非常に良い	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡県外	認知度が上がり紹介が増えた事
3	よい	製造業（生産財）	0名～5名	県南地区	昨年度コロナ禍で受注が止まっていたものが、今年度に動き出している
4	よい	製造業（生産財）	6名～10名	北九州地区	少し自動車業界が動き出した
5	よい	製造業（生産財）	31名～50名	福岡地区	国内の製造業が昨年と比べて非常に改善しています。
6	よい	製造業（生産財）	51名～100名	福岡地区	今まで低調だった仕事がワクチン接種の安堵感からか増えてきた為と思われる。また、新規開拓等の努力
7	よい	建設業（建築）	6名～10名	福岡地区	受注から納品までの期間が、仕事の性質上長いので、受注しているが請求がかなりずれがあります。
8	よい	建設業（建築）	11名～20名	福岡地区	停滞していた事案が活性化した
9	よい	建設業（建築）	21名～30名	福岡地区	昨年同期は、新型コロナ感染による緊急事態宣言の影響が建設業も大きく売上げが大幅に減少したが、今期は例年並みの受注が出来ているため
10	よい	建設業（建築）	31名～50名	福岡地区	経営革新や事業再構築を検討した事
11	よい	建設業（設備）	6名～10名	福岡地区	大工事の受注があった
12	よい	建設業（設備）	6名～10名	福岡地区	公共工事の新規受注増・建設会社からの下請工事受注増による
13	よい	建設業（設備）	11名～20名	北九州地区	女性の営業員を1人増やして、新規開拓拡大に力を入れています
14	よい	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	コロナ禍でも動く商品に力を入れた
15	よい	商業・流通業	31名～50名	福岡地区	同業の競争激化
16	よい	商業・流通業	51名～100名	筑豊地区	コロナ禍前2019年との対比では、売り上げ96%で復調していない。

17	よい	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	雇用調整助成金の申請依頼の増加、顧問先の増加
18	よい	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	コロナの影響で、支援金の相談が増えた
19	よい	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	コロナを受けて、新規受注の伸びは少ないものの、既存取引先などが従来の状況に戻りつつあるため
20	よい	サービス業（対事業所）	31名～50名	福岡地区	コロナ関連助成金の申請がへってきたため
21	よい	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡地区	コロナの影響が多少はあると思います。
22	よい	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡地区	取引先の営業担当者からの依頼増加
23	よい	サービス業（対個人）	0名～5名	筑豊地区	既存客への訪問強化
24	よい	サービス業（対個人）	0名～5名	県南地区	既存顧客に支えられながら、ウェブサイトのリニューアルの効果もあり新規の取り組みメニューも少しずつ増加しているため。
25	よい	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	社会が動き出した
26	よい	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	従業員の努力
27	よい	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	紹介とインターネットからの新規顧客とリピーターが増えた
28	よい	サービス業（対個人）	11名～20名	福岡県外	得意先が増えたから売上がアップした。社員の退職により人件費が減ったため利益が増えた
29	よい	サービス業（対個人）	31名～50名	筑豊地区	コロナの影響があまりなく、順調に成長している
30	普通	製造業（生産財）	0名～5名	筑豊地区	取引先が少し動き出した。
31	普通	製造業（生産財）	31名～50名	県南地区	売上は製造業は大きく落ち込みはしていないが、伸びてもいない。ただし、鋼材価格の値上がりが起こり、顧客への単価への転嫁が間に合っていない。
32	普通	製造業（生産財）	51名～100名	北九州地区	コロナの影響
33	普通	製造業（生産財）	51名～100名	県南地区	小口顧客を増やすために、展示会出展やweb・印刷物を使用した営業活動を日頃から行なっている為
34	普通	製造業（生産財）	51名～100名	福岡県外	設備投資が動き出したため
35	普通	製造業（消費財）	0名～5名	福岡地区	原材料費が高騰、品不足まで起きている
36	普通	製造業（消費財）	6名～10名	県南地区	コロナとオリンピックの影響で公共・民間事業が減少
37	普通	製造業（消費財）	11名～20名	福岡地区	消費の低迷を営業力でカバーしている。

38	普通	製造業（消費財）	11名～20名	筑豊地区	変わらない
39	普通	製造業（消費財）	21名～30名	県南地区	なかなか動けず、新規が増えない
40	普通	製造業（消費財）	31名～50名	福岡地区	自社の組織改変により受注活動が正常に機能してきたため
41	普通	製造業（消費財）	51名～100名	福岡地区	去年はコロナの影響で売り上げが減少、現在は影響が一部を除いて落ち着いている。
42	普通	建設業（建築）	0名～5名	福岡地区	今の所コロナ禍の影響は受けていない
43	普通	建設業（建築）	6名～10名	北九州地区	特になし
44	普通	建設業（建築）	11名～20名	福岡地区	初期投資を抑える傾向があるのか？他の業者は当社ほど下がってないようなので偶々か？
45	普通	建設業（土木）	21名～30名	福岡地区	安定受注が出来ている
46	普通	建設業（土木）	21名～30名	福岡地区	公共工事等が鈍化している中、新規受注に力を入れたためやや受注が増加している。
47	普通	建設業（設備）	0名～5名	福岡地区	コロナ禍の為
48	普通	建設業（設備）	6名～10名	福岡地区	コロナ・時流・技術員不足
49	普通	建設業（設備）	11名～20名	県南地区	民間の設備投資が、すくないため
50	普通	建設業（設備）	21名～30名	県南地区	前年度より設備投資をする顧客が増えた
51	普通	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	新規顧客は増加してないが、固定顧客からの受注は安定。
52	普通	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	コロナの影響
53	普通	商業・流通業	0名～5名	県南地区	ユーザー様の使用アイテム数の増加。
54	普通	商業・流通業	0名～5名	県南地区	PDCA を活用して行動した為また、会員増強活動や永久劣後ローンの署名活動に見習う営業活動を実行した為
55	普通	商業・流通業	6名～10名	福岡地区	昨年度はコロナの影響で減少、その反動で戻りつつあり
56	普通	商業・流通業	6名～10名	福岡地区	仕入れ価格高騰
57	普通	商業・流通業	31名～50名	福岡地区	ユーザーが買い控えをしている。
58	普通	商業・流通業	51名～100名	筑豊地区	資材の値上げコロナによる営業活動の自粛
59	普通	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	民間少し減であるが、官公の受注を増やした為
60	普通	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	事務所の方針で受注を制限している。
61	普通	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	新規の注文あり

62	普通	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	既存取引先からの新期受注拡大。若干の新期受託先の増加
63	普通	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	大きな変化なしのため
64	普通	サービス業（対事業所）	0名～5名	筑豊地区	天候、コロナ過
65	普通	サービス業（対事業所）	6名～10名	福岡地区	公共工事の設計業務を対象としているため、好不況の波は少ない。
66	普通	サービス業（対事業所）	6名～10名	福岡地区	努力＋努力
67	普通	サービス業（対事業所）	6名～10名	北九州地区	日々の業務への取組みの結果であり特段新規事業などへの取組みなし
68	普通	サービス業（対事業所）	11名～20名	福岡地区	コロナが少し落ち着き、以前通りに戻りつつある。
69	普通	サービス業（対事業所）	11名～20名	福岡地区	新規受注費用が上がり、高コスト体質になっていたため。
70	普通	サービス業（対事業所）	11名～20名	福岡地区	人員が変わらなかったため
71	普通	サービス業（対事業所）	11名～20名	福岡地区	計画通り
72	普通	サービス業（対事業所）	11名～20名	筑豊地区	定時内作業に従事している。
73	普通	サービス業（対事業所）	11名～20名	県南地区	業績が安定した業種である。
74	普通	サービス業（対事業所）	21名～30名	県南地区	コロナの影響をうけてないから
75	普通	サービス業（対事業所）	51名～100名	北九州地区	原価の低減と販管費等の削減(コロナ禍の為営業費用が大幅に削減した)
76	普通	サービス業（対事業所）	100名以上	福岡地区	時期的な要因が大きいです。
77	普通	サービス業（対事業所）	100名以上	県南地区	客先への訪問がまだ厳しい
78	普通	サービス業（対事業所）	100名以上	福岡県外	コロナによりクライアント売上減少による
79	普通	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡地区	既存顧客の対応で回っている
80	普通	サービス業（対個人）	0名～5名	北九州地区	新規顧客の開拓の結果
81	普通	サービス業（対個人）	6名～10名	筑豊地区	コロナ渦
82	普通	サービス業（対個人）	21名～30名	福岡地区	コロナの影響もある
83	普通	サービス業（対個人）	21名～30名	筑豊地区	とても伸びているところにコロナで・・・横ばい
84	悪い	製造業（生産財）	6名～10名	福岡地区	飲食店の休業
85	悪い	製造業（生産財）	11名～20名	福岡地区	生産性の悪化
86	悪い	製造業（生産財）	11名～20名	福岡地区	コロナの影響

87	悪い	製造業（生産財）	21 名～30 名	県南地区	HP からの民間需要の商材の新規受注が増えた
88	悪い	製造業（消費財）	11 名～20 名	福岡地区	新型コロナウイルス感染拡大防止の為の緊急事態宣言等による需要の減少
89	悪い	製造業（消費財）	21 名～30 名	北九州地区	天候不良、災害による材料供給不足
90	悪い	建設業（建築）	0 名～5 名	福岡地区	雨が、多く、受注も、仕事もできない状態。
91	悪い	建設業（建築）	0 名～5 名	福岡地区	コロナの影響により、同業者間の価格競争に拍車がかかったと思われる
92	悪い	建設業（建築）	6 名～10 名	福岡地区	コロナによる、発注時期の延期・保留等により
93	悪い	建設業（建築）	6 名～10 名	福岡地区	役所発注工事を、一件受注できたのでかろうじて凌いでいる。民間工事は、殆ど全滅状態である。
94	悪い	建設業（土木）	6 名～10 名	県南地区	行政の工事発注の増加、激務による設備の破損
95	悪い	建設業（設備）	0 名～5 名	福岡地区	完全なコロナの影響を受けてます
96	悪い	建設業（設備）	11 名～20 名	福岡地区	蔓延防止や緊急事態宣言等により商談や決議の機会減少の為
97	悪い	建設業（設備）	21 名～30 名	福岡地区	コロナの為
98	悪い	建設業（設備）	31 名～50 名	筑豊地区	今期に入り、官・民共に仕事の発注件数が減っている。
99	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	福岡地区	コロナの影響で販売店の売上が大きく低下した事が影響した。
100	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	福岡地区	コロナによる売上減少
101	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	筑豊地区	コロナウィルスの影響
102	悪い	商業・流通業	6 名～10 名	筑豊地区	コロナ禍の影響による
103	悪い	商業・流通業	11 名～20 名	福岡地区	コロナ
104	悪い	商業・流通業	11 名～20 名	福岡地区	コロナによる消費意欲の低下、薬事法などの関連法令の縛り、競合他社の増加、など複合的な理由によると考える。
105	悪い	商業・流通業	11 名～20 名	北九州地区	コロナ禍で設備投資の偏り
106	悪い	商業・流通業	11 名～20 名	筑豊地区	粗利の高い事業への売上構成比変更挑戦中
107	悪い	商業・流通業	21 名～30 名	福岡地区	店舗の時短営業と購買層の外出自粛
108	悪い	商業・流通業	31 名～50 名	福岡地区	コロナの影響
109	悪い	商業・流通業	31 名～50 名	筑豊地区	コロナ禍、原油高

110	悪い	商業・流通業	51名～100名	福岡地区	原材料の高騰で仕入れ価格が上がり、売価に反映しづらい状況である。
111	悪い	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	コロナ禍で仕事が進まず、営業もできなかった。
112	悪い	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	コロナで営業活動の自粛、
113	悪い	サービス業（対事業所）	0名～5名	北九州地区	コロナによる面談が出来づらい。
114	悪い	サービス業（対事業所）	11名～20名	福岡地区	緊急事態で先行きが見えないお客様のニーズが低迷。その影響をモロに受けている。
115	悪い	サービス業（対事業所）	11名～20名	福岡地区	昨年はコロナ禍で通期を通して、厳しい状況が続いた。今期は持ち直してきているが、緊急事態に入ると採用活動が消極的になる。飲食店はまず求人が止まる。7月から8月初旬までは採用活動が活発だったが、緊急事態宣言が出されて勢いが止まった。
116	悪い	サービス業（対事業所）	51名～100名	福岡地区	料金（運賃）の値下げによる、契約解除。
117	悪い	サービス業（対事業所）	51名～100名	福岡地区	人材採用費に経費がかかり利益を圧迫
118	悪い	サービス業（対事業所）	51名～100名	福岡地区	新規工事が中断しているようだ
119	悪い	サービス業（対事業所）	100名以上	福岡地区	売上・利益とも、昨年7月～9月が最低で、少し回復した。
120	悪い	サービス業（対事業所）	100名以上	福岡地区	新型コロナウイルスの影響で各種行事、イベントの中止や延期になったため
121	悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡地区	政治でしょうね。日本の方向性が全く見えないですね。
122	悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡地区	新型コロナウイルス感染拡大により、顧客（障害者）の就活行動が大幅に減ったため。
123	悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	筑豊地区	アパレルは緊急事態宣言下では売れにくいから
124	悪い	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	営業活動量の減少
125	悪い	サービス業（対個人）	6名～10名	北九州地区	緊急事態宣言による人流の鈍化
126	悪い	サービス業（対個人）	6名～10名	筑豊地区	原材料、資材の高騰、仕入れ単価上昇。
127	悪い	サービス業（対個人）	11名～20名	福岡地区	コロナによる影響
128	悪い	サービス業（対個人）	21名～30名	筑豊地区	人動の減少の為
129	悪い	サービス業（対個人）	31名～50名	福岡地区	テレワークの影響で
130	非常に悪い	製造業（生産財）	0名～5名	北九州地区	大手警備会社商品（表示板）を継続納入していたが、コロナによる人流抑制等で警備数が激減。そのため納入数が激減。大手信号機メーカーに、ロボット組み込み表示板を販売していたが、コロナの影響によりロボット生産が中断。そのため納入数が激減。

131	非常に悪い	製造業（生産財）	11名～20名	福岡地区	コロナ禍の影響で、商品が売れていない。また緊急事態宣言で展示会販売の売上が作りにくくなっている。
132	非常に悪い	製造業（生産財）	11名～20名	県南地区	コロナ禍の影響
133	非常に悪い	製造業（消費財）	0名～5名	福岡地区	一般、または官庁など発注が少ない。
134	非常に悪い	製造業（消費財）	11名～20名	北九州地区	外出自粛の影響が大きい
135	非常に悪い	製造業（消費財）	11名～20名	筑豊地区	コロナの影響
136	非常に悪い	製造業（消費財）	21名～30名	福岡地区	緊急事態の4度目の発令における影響
137	非常に悪い	建設業（建築）	0名～5名	福岡地区	大きな物件が6月までに全て完了して小さな物件のみになったから
138	非常に悪い	商業・流通業	6名～10名	福岡地区	売上、利益増加は取扱商品の相場上昇により。業況、新規受注はコロナの影響なのか？
139	非常に悪い	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	新型コロナウイルス感染の拡大、緊急事態宣言による需要減
140	非常に悪い	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	コロナ禍で既存顧客のリピートが減少し新規も増加出来ていないため
141	非常に悪い	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	海外取引が出来なかった為
142	非常に悪い	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	コロナによる仕事の延期
143	非常に悪い	サービス業（対事業所）	11名～20名	福岡地区	緊急事態宣言による人流の減少（昨年はGoToによる恩恵があり）
144	非常に悪い	サービス業（対事業所）	21名～30名	県南地区	休業要請に従い休業しているため
145	非常に悪い	サービス業（対事業所）	31名～50名	福岡地区	緊急事態宣言による
146	非常に悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡地区	コロナウィルスの影響
147	非常に悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡地区	休業要請に従っている為。
148	非常に悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡県外	緊急事態宣言のため
149	非常に悪い	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	コロナ禍でブライダル事業をやっていたが壊滅的だったので、美容室を昨年11月に出店。売り上げは上がったが緊急事態宣言により美容室予約の減少、固定費が多く出るようになったため、利益は大幅減少。昨年は緊急補助金（雑収入）が200万でいた。
150	非常に悪い	サービス業（対個人）	11名～20名	福岡地区	コロナによる休業
151	非常に悪い	サービス業（対個人）	11名～20名	北九州地区	コロナ
152	非常に悪い	サービス業（対個人）	31名～50名	福岡地区	コロナの影響を受けて、営業時間の短縮、アルコール類の制限等集客が減っている。

153	非常に悪い	サービス業（対個人）	51名～100名	福岡地区	コロナ休業要請
154	-	製造業（生産財）	21名～30名	県南地区	半導体に加え、樹脂等多様な物資が様々な理由により不足している。そのせいか、受注の立ち直りが予想より悪く、結果、去年と同水準という結果になった。

(イ) 次期予想理由

	次期業況予想	5.今期景況判断	2.従業員数	3.本社所在地	11.次期予想理由
1	非常によくなる	非常に良い	0名～5名	福岡県外	現時点で12月までの予約がいっぱいである事
2	非常によくなる	よい	6名～10名	福岡地区	社会が動き出した
3	非常によくなる	よい	6名～10名	福岡地区	納品がスタートするので請求が可能。
4	非常によくなる	よい	11名～20名	福岡地区	受注が好調なため
5	非常によくなる	普通	0名～5名	福岡地区	新規、官と民の共方を受注
6	非常によくなる	普通	0名～5名	県南地区	問9に記載した事を継続して行く為
7	非常によくなる	非常に悪い	6名～10名	福岡地区	ブライダル事業が全盛期の三分の一戻ってきている。年末に向けて美容室の売り上げも増加見込みのため
8	よくなる	非常に良い	11名～20名	筑豊地区	生産計画により、判断。
9	よくなる	よい	0名～5名	福岡地区	引き続き雇用調整助成金の申請依頼が続いている
10	よくなる	よい	0名～5名	福岡地区	依頼が途切れずにあるので
11	よくなる	よい	0名～5名	北九州地区	既に案件受注済み
12	よくなる	よい	0名～5名	県南地区	10月の予約も好調で、9月も前年対比増加を見込まれるため
13	よくなる	よい	6名～10名	福岡地区	公共工事の新規受注増・建設会社からの下請工事受注増による
14	よくなる	よい	11名～20名	福岡県外	得意先が増える予定
15	よくなる	よい	21名～30名	福岡地区	新規受注が増加しているため
16	よくなる	よい	31名～50名	福岡地区	技術的な他社との差別化をした
17	よくなる	よい	31名～50名	福岡地区	受注が増えています。
18	よくなる	よい	31名～50名	福岡地区	新規案件の話が多く来ている
19	よくなる	よい	51名～100名	福岡地区	今後の市況の不透明感はあるものの例年の繁忙期をこれから迎える中で仕事が増えつつあるため。
20	よくなる	よい	100名以上	福岡地区	決まっている物件が動き出すため
21	よくなる	普通	0名～5名	県南地区	ユーザー様、新店舗の増加予定。
22	よくなる	普通	6名～10名	福岡地区	季節商品取り扱いにより
23	よくなる	普通	6名～10名	福岡地区	努力+努力
24	よくなる	普通	6名～10名	県南地区	個人消費（ネット販売）が伸びると思う為。

25	よくなる	普通	11名～20名	福岡地区	営業戦略が功を奏して新規分野の受注が見込める
26	よくなる	普通	11名～20名	福岡地区	新商材の販売
27	よくなる	普通	11名～20名	福岡地区	売上単価が若干増額したから
28	よくなる	普通	21名～30名	福岡地区	新商品に期待
29	よくなる	普通	21名～30名	福岡地区	従来の通りに行けば、繁忙期に入ってくるため
30	よくなる	普通	21名～30名	筑豊地区	新規事業の立ち上げ
31	よくなる	普通	21名～30名	県南地区	安定した業務が増えた
32	よくなる	普通	31名～50名	福岡地区	引き合い物件数の増加
33	よくなる	普通	51名～100名	福岡県外	企業の設備投資が動きだしたため
34	よくなる	普通	100名以上	福岡地区	業界の最盛期に向かうため。
35	よくなる	普通	100名以上	福岡県外	年末にかけて上向きの為
36	よくなる	悪い	0名～5名	福岡地区	コロナの影響は8月だけで済む予定。
37	よくなる	悪い	0名～5名	筑豊地区	緊急事態宣言の緩和
38	よくなる	悪い	6名～10名	福岡地区	コロナ感染減少に伴う旅行需要の回復が見込まれる。緊急非常事態宣言・蔓延防止措置の解除の効果期待
39	よくなる	悪い	6名～10名	福岡地区	休業店が開店になると予想
40	よくなる	悪い	6名～10名	県南地区	売り上げ増加(繁忙期)、および設備の補修がある程度め目途が付いたこと
41	よくなる	悪い	11名～20名	福岡地区	新商品の販売など、様々な手を打っている最中で、そのどれかでそろそろ成果が出るはず。
42	よくなる	悪い	11名～20名	福岡地区	期待値。年末需要に向けて秋口から採用活動が活発になる。コロナ禍次第と思われるが、企業の生き残りもあるので年末需要に期待をして採用活動は活発になるのでは。そこに期待をしたい。
43	よくなる	悪い	11名～20名	福岡県外	結婚式が少しずつ増えだしてきているようだから
44	よくなる	悪い	21名～30名	県南地区	年度末にかけての公共工事、民間需要が増える。現在、引合件数が増加傾向にある。
45	よくなる	非常に悪い	0名～5名	福岡地区	7から9月が悪すぎた計画中の物件がある
46	よくなる	非常に悪い	0名～5名	福岡地区	緊急事態が終わり、仕事が復活するため
47	よくなる	非常に悪い	0名～5名	福岡地区	新型コロナウイルス感染の縮小、年末年始商戦の準備
48	よくなる	非常に悪い	0名～5名	福岡地区	別事業部の売上拡大の為
49	よくなる	非常に悪い	11名～20名	福岡地区	行動制限緩和
50	現在と変わらない	よい	0名～5名	福岡地区	コロナの影響が収まらないと思われるため
51	現在と変わらない	よい	0名～5名	福岡地区	毎年これからはそんなに動かない時期になるから。
52	現在と変わらない	よい	0名～5名	福岡地区	コロナが落ち着くまではリモートなどの取組が主になり、様子見が続くと思われるから。
53	現在と変わらない	よい	0名～5名	県南地区	今の段階から注文が決まっている(キャンセルになる可能もある)
54	現在と変わらない	よい	6名～10名	福岡地区	前年の実績から
55	現在と変わらない	よい	6名～10名	福岡地区	今の現状は維持できると考えますがこの先、得意先様やお客様の景況の動向次第で大きくプラスは考えられ

					ない。
56	現在と変わらない	よい	6名～10名	北九州地区	半導体の調達などが出来ず量産体制が出来ない為
57	現在と変わらない	よい	31名～50名	福岡地区	新規獲得が思うように伸びない
58	現在と変わらない	よい	31名～50名	筑豊地区	昨年からの流れ
59	現在と変わらない	よい	51名～100名	筑豊地区	トヨタをはじめ自動車産業は、半導体の不足やコロナ禍による東南アジアからの部品供給の停滞によってラインを6日間止める。その影響が協力会社に及んでいる。
60	現在と変わらない	普通	0名～5名	福岡地区	過去からの見込み案件がほぼ計画通り推移しているため。
61	現在と変わらない	普通	0名～5名	福岡地区	先通し不透明な為
62	現在と変わらない	普通	0名～5名	福岡地区	新規受注の可能性が少ない
63	現在と変わらない	普通	0名～5名	福岡地区	コロナの影響
64	現在と変わらない	普通	0名～5名	福岡地区	コロナ禍の為
65	現在と変わらない	普通	0名～5名	福岡地区	新規顧客の見込みがない
66	現在と変わらない	普通	0名～5名	福岡地区	今後設備投資が減少し影響を受ける
67	現在と変わらない	普通	0名～5名	筑豊地区	変わらないと回答したが、全然先の動向が見えないのが現状。
68	現在と変わらない	普通	6名～10名	福岡地区	今年の3月までは前年割れしたが、回復傾向にあり、又昨年年末は商品動きが12月のみだった。
69	現在と変わらない	普通	6名～10名	福岡地区	会社の体力の為
70	現在と変わらない	普通	6名～10名	福岡地区	上記の通り
71	現在と変わらない	普通	6名～10名	北九州地区	特になしなので
72	現在と変わらない	普通	6名～10名	筑豊地区	コロナが治まっていない
73	現在と変わらない	普通	11名～20名	筑豊地区	定時内作業に従事している。
74	現在と変わらない	普通	11名～20名	県南地区	コロナ不況
75	現在と変わらない	普通	21名～30名	福岡地区	先行きが不透明な為、現状維持に力を注ぐためそう判断しました。
76	現在と変わらない	普通	21名～30名	県南地区	コロナの影響をうけてないから
77	現在と変わらない	普通	21名～30名	県南地区	顧客の設備投資がまだ十分ではない
78	現在と変わらない	普通	31名～50名	福岡地区	まだコロナの状況がはっきりしないので。
79	現在と変わらない	普通	51名～100名	福岡地区	特に変動する材料が見受けられない。
80	現在と変わらない	普通	51名～100名	北九州地区	コロナ禍の為、主要1社の売上の予測がつかない。官庁及びプラントのメンテナンスは通常通り行われている。
81	現在と変わらない	普通	51名～100名	県南地区	コロナウィルスパンデミックによる負の影響は峠を越えると見込む為
82	現在と変わらない	普通	100名以上	福岡地区	コロナが終息しないため
83	現在と変わらない	悪い	0名～5名	福岡地区	コロナ対策にまだ時間がかかる。
84	現在と変わらない	悪い	0名～5名	福岡地区	大手企業は過去最高益。中小企業は減収です。これはコロナのいたずらでしょうか？

85	現在と変わらない	悪い	0名～5名	北九州地区	コロナの終息が見えない。
86	現在と変わらない	悪い	6名～10名	北九州地区	現状のままではおそらく前年比を割りそうなので
87	現在と変わらない	悪い	11名～20名	福岡地区	9月30日まで緊急事態が延期されたのでその後の状況が読み切れない。9～11月は当社にとって本来繁忙期。
88	現在と変わらない	悪い	11名～20名	福岡地区	生産性の悪化
89	現在と変わらない	悪い	11名～20名	福岡地区	コロナの影響
90	現在と変わらない	悪い	11名～20名	福岡地区	収束の目途が立たない為
91	現在と変わらない	悪い	11名～20名	北九州地区	先行きが不透明
92	現在と変わらない	悪い	21名～30名	福岡地区	終息しない為
93	現在と変わらない	悪い	21名～30名	福岡地区	新型コロナ終息はまだ先と思われるため
94	現在と変わらない	悪い	21名～30名	北九州地区	毎年冬期の売上はよくない
95	現在と変わらない	悪い	31名～50名	福岡地区	厳しい状況が続く見込み
96	現在と変わらない	悪い	31名～50名	筑豊地区	状況次第
97	現在と変わらない	悪い	51名～100名	福岡地区	不足している人員も、少しづつ解消されてきていて、新規業務獲得にも、繋げていくことが出来る。
98	現在と変わらない	悪い	51名～100名	福岡地区	得意先への値上げ交渉の抵抗が激しい。
99	現在と変わらない	悪い	51名～100名	福岡地区	①コロナによる一部事業の受注大幅減少の継続②新規受注が現時点で見込めない③最低賃金上昇に伴う、賃金改定実施するもクライアントへの値上げ交渉が進んでいない
100	現在と変わらない	悪い	100名以上	福岡地区	コロナ感染拡大が続く、積極展開ができない。
101	現在と変わらない	悪い	100名以上	福岡地区	予算が確定しているため
102	現在と変わらない	非常に悪い	0名～5名	福岡地区	コロナ禍で既存顧客のリピートが減少し新規も増加出来ていないため
103	現在と変わらない	非常に悪い	0名～5名	福岡地区	コロナの状況により変わると思います。
104	現在と変わらない	非常に悪い	0名～5名	北九州地区	表示器は、主に、人流抑制や誘導および告知の為に必要な商材。そのため、今までのような利用用途では納入回復は見込めない。現在、保安関連向けに顧客ターゲットを変更している状況。
105	現在と変わらない	非常に悪い	0名～5名	福岡県外	緊急事態宣言などどうなるか
106	現在と変わらない	非常に悪い	11名～20名	福岡地区	緊急自治宣言が解除されれば前年ほどは売上ができると思う。
107	現在と変わらない	非常に悪い	11名～20名	北九州地区	コロナの状況、緊急事態宣言など外出自粛を伴う政策がどのようになるかわからないため。
108	現在と変わらない	非常に悪い	11名～20名	県南地区	コロナ禍の影響が続く
109	現在と変わらない	非常に悪い	21名～30名	福岡地区	コロナの終息が見えない。
110	現在と変わらない	非常に悪い	51名～100名	福岡地区	コロナの見通しが立たない
111	現在と変わらない	-	100名以上	福岡地区	収支の変更がないため
112	悪くなる	よい	0名～5名	筑豊地区	コロナによる影響。
113	悪くなる	普通	0名～5名	福岡地区	新型コロナウィルスの影響で受注が減少する。

114	悪くなる	普通	0名～5名	福岡地区	官公庁予算減少の影響
115	悪くなる	普通	11名～20名	福岡地区	経済活動がほぼ2年停止しているため、法人客も苦しい状況のため。
116	悪くなる	普通	11名～20名	筑豊地区	コロナが身近に出たら休まなくてはいけなくなりそうだから
117	悪くなる	普通	11名～20名	県南地区	材料がすべてにおいて高騰しており、なおかつ入手困難になっているため
118	悪くなる	普通	31名～50名	県南地区	特に明るい話題がないため。
119	悪くなる	普通	51名～100名	筑豊地区	資材の値上げコロナによる営業活動の自粛
120	悪くなる	普通	100名以上	県南地区	外部的には客先の経営状況、内部的には提案件数が少ない
121	悪くなる	悪い	0名～5名	福岡地区	受注見込みが少ない。
122	悪くなる	悪い	0名～5名	福岡地区	仕事の予約が入らないから
123	悪くなる	悪い	0名～5名	福岡地区	上向き傾向になる気配がない
124	悪くなる	悪い	0名～5名	福岡地区	コロナ
125	悪くなる	悪い	0名～5名	筑豊地区	原料及び製品の高騰と品薄
126	悪くなる	悪い	6名～10名	福岡地区	消費者の活動が鈍化している
127	悪くなる	悪い	6名～10名	福岡地区	間接的ではありますが、コロナが終息しなく行政の対策の不手際で、その影響受けそう。
128	悪くなる	悪い	6名～10名	筑豊地区	仕入商材の原料高騰が続いている
129	悪くなる	悪い	11名～20名	福岡地区	コロナ
130	悪くなる	悪い	21名～30名	筑豊地区	人動の減少及び安全対策の不備の為
131	悪くなる	悪い	31名～50名	福岡地区	コロナが落ち着いていないので
132	悪くなる	悪い	31名～50名	筑豊地区	今後も受注の見込みが立たないため。
133	悪くなる	悪い	51名～100名	福岡地区	9と同じ
134	悪くなる	非常に悪い	0名～5名	福岡地区	見通しが立たない
135	悪くなる	非常に悪い	6名～10名	福岡地区	設備投資や建築物の減少により。
136	悪くなる	非常に悪い	31名～50名	福岡地区	感染者の増加が止まらないから。これから先も増え続けるのではないかという予測。
137	悪くなる	-	21名～30名	県南地区	先程も挙げた樹脂の不足による影響が広がっていくと考えている為。
138	非常に悪くなる	普通	51名～100名	北九州地区	コロナの影響
139	非常に悪くなる	悪い	0名～5名	福岡地区	状況が好転する気配が見えないため
140	非常に悪くなる	非常に悪い	11名～20名	筑豊地区	秋のイベントがほぼ中止のため
141	非常に悪くなる	非常に悪い	21名～30名	県南地区	第6波による休業要請が出ると思われるため
142	-	よい	11名～20名	北九州地区	今までは既存のお客の電話待ちでしたが新規拡大を含めて営業に周り仕事量の増大を計る
143	-	非常に悪い	0名～5名	福岡地区	コロナで世間が働いていない。少し良くなってくると良いが・・・

(ウ) 新たな取り組み

0	5.今期景況判断	1.業種	2.従業員数	3.本社所在地	18.新たな取り組みの内容
1	非常に良い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡県外	リモートをもっと活用して、いろいろな提供を出来るようにしたい。
2	よい	サービス業(対個人)	0名～5名	県南地区	経営革新申請中です。
3	よい	サービス業(対個人)	0名～5名	筑豊地区	非対面型営業の強化。
4	よい	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡県外	売上減になっても利益が出る仕組み作り
5	よい	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	新規事業
6	よい	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	出来る衛生的な職場環境作り
7	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	リモートワークの導入
8	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	リモート対応ができるように通信環境の見直しを行い、サービスメニューの変更を行った。
9	よい	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	zoomの活用、テレワークの実施、時差通勤
10	よい	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	オンラインに特化した新たなサービスを模索中です。
11	よい	サービス業(対事業所)	31名～50名	福岡地区	DX戦略をたて、実行していきます
12	よい	建設業(建築)	11名～20名	福岡地区	NET通信環境を整備しPCを刷新した
13	よい	建設業(建築)	21名～30名	福岡地区	付加価値を高めるため新規事業に取り組んでいる
14	よい	建設業(建築)	31名～50名	福岡地区	事業再構築計画を立て進んでいる
15	よい	建設業(設備)	0名～5名	北九州地区	営業方法の変換
16	よい	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	コロナ禍に需要がありそうな商品の開発
17	よい	商業・流通業	51名～100名	筑豊地区	RPAの社内確立と販売
18	よい	製造業(生産財)	0名～5名	県南地区	ネット通販のサイトを作って、販売に繋がるように試行錯誤中
19	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	時間短縮の営業時間、時差出勤、社内マスク、消毒、体温測定
20	普通	サービス業(対個人)	21名～30名	筑豊地区	食事時の仕切りボード、送迎時の検温、PCRキットの導入。
21	普通	サービス業(対個人)	21名～30名	福岡地区	新業態への取り組み

22	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	県南地区	新分野展開
23	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	筑豊地区	会社内応対方法や待ち時間の空間を変化させていきたいと考えている。
24	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	筑豊地区	就業規則の見直し、BCP見直し、人事評価制度の導入準備中
25	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新規顧客獲得に向けて計画
26	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡県外	テレワーク
27	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	イベント関連の仕事がなくなるなど、受注計画が変わったため、得意先との関係強化や、新規の開拓に取り組んだ。
28	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	県南地区	IT設備導入
29	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	筑豊地区	リモートで仕事ができる環境づくり。
30	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	テレワーク等、リモートワーク。
31	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	経営方針の具体化と実践。
32	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	・社内作業希望者の在宅ワーク・総務・経理関係の電子化
33	普通	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡県外	WEB利用
34	普通	サービス業(対事業所)	51名～100名	北九州地区	テレワーク推進、営業商談のオンライン化等
35	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	流動資産への投資による高利回りの配当。
36	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	北九州地区	リモートワーク、リモート営業への取り組み
37	普通	建設業(設備)	11名～20名	県南地区	保険の加入を検討している
38	普通	建設業(設備)	6名～10名	福岡地区	検温・消毒・マスク使用・車通勤・テレワーク
39	普通	建設業(土木)	21名～30名	福岡地区	ISO9001、14001を取得して会社の組織強化を行っている。次世代育成・男女共同参画支援企業及びふくおか「働き方改革」推進企業登録を行い、取り組んでいます。
40	普通	商業・流通業	0名～5名	県南地区	当社オリジナル商品の作成。
41	普通	商業・流通業	0名～5名	県南地区	コロナ禍だから出来た新店舗開店
42	普通	商業・流通業	31名～50名	福岡地区	①本業とは別にマンション事業での収入予定(来年度より)。②別の新規事業への参入予定。
43	普通	商業・流通業	6名～10名	福岡地区	在宅を行っている

44	普通	商業・流通業	6名～10名	福岡地区	基幹事業外の新事業開拓
45	普通	製造業(消費財)	21名～30名	県南地区	設備を導入し自動化を図り、人的負担を減らす
46	普通	製造業(消費財)	31名～50名	福岡地区	商品開発により自社独自販路開拓を強化している
47	普通	製造業(消費財)	6名～10名	県南地区	個人消費向けのインターネット販売を始めました。
48	普通	製造業(生産財)	51名～100名	県南地区	工作機械や表面処理機械など、好況時に比べて安く早く入手できるので、それらの購入や、入れ物としての工場増改築など
49	悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	コロナを理由にしないと言うことです。『コロナウイルスの事を皆さんもう少し勉強した方がいいと思います』
50	悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	理事長が先頭に立って、精神科医療機関や障害者支援機関を訪問し、個別にニーズを掘り起こす。
51	悪い	サービス業(対個人)	21名～30名	筑豊地区	建物の安全・安心に配慮
52	悪い	サービス業(対個人)	31名～50名	福岡地区	業態変更
53	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	県南地区	顧客へのオンライン対応
54	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	WEB面談やテレワークの導入
55	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	北九州地区	経費の削減
56	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新事業と事業再構築補助金の申請
57	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	北九州地区	新規事業を検討している。
58	悪い	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	新規事業開発
59	悪い	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	リモートワーク
60	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	飲食業界に絞り込んだ専門求人サイトの代理店をスタート。飲食業界はコロナ禍の影響をモロに受けているが、スタートとしてはまずまず。
61	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	弊社では求人情報の取扱をしていますが、昨年の秋から飲食に絞ったサイトを九州地区代理店として取り組んでいます。コロナ禍で飲食店は大変な状況ですが、福岡都市圏においては大きなマーケットなので先々を期待して取り組んでいるところです。また、このコロナ禍においても求人を継続的にされている業界に絞り込んだサイトも新たに立ち上げることを進めています。
62	悪い	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	70%テレワーク

63	悪い	建設業(建築)	6名～10名	福岡地区	検温、マスクの着用、発熱等多少なりと、コロナの可能性のある社員は、出勤停止している(有給)。病院の結果を行い、結果がはっきりする迄自宅待機させる。
64	悪い	建設業(建築)	6名～10名	福岡地区	IT 活用
65	悪い	建設業(設備)	11名～20名	福岡地区	新規事業設立計画
66	悪い	建設業(設備)	31名～50名	筑豊地区	装置のメンテナンスにおいて、非接触対応が可能となるよう、AI および IoT の開発
67	悪い	建設業(土木)	6名～10名	県南地区	新規事業、新製品を検討中。また別会社サービスも検討中
68	悪い	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	①主力品の HP リニューアル②加工委託による生産増にて販路の拡大③新商品の開発と販売
69	悪い	商業・流通業	100名以上	福岡地区	消毒、窓の風通し、マスク着用
70	悪い	商業・流通業	11名～20名	筑豊地区	モノ売りからサーボス業への転換
71	悪い	商業・流通業	11名～20名	福岡地区	新商品を複数発売、社内体制を商品担当制へ変更、さらに新たな新商品の開発を検討中。
72	悪い	商業・流通業	21名～30名	福岡地区	社内の IT 化を進め業務効率化を図り、売上上昇＝人件費上昇及び経費上昇を抑える。EC 販売強化により、EC 販売型 SPA の確立
73	悪い	商業・流通業	31名～50名	福岡地区	新規事業の立ち上げ
74	悪い	商業・流通業	51名～100名	福岡地区	交代制の在宅勤務の実施
75	悪い	商業・流通業	6名～10名	筑豊地区	自社商品の開発販売を行う
76	悪い	製造業(生産財)	21名～30名	県南地区	・営業スタイルの変革(HP からの集客 UP、オンライン商談など)・組織改革(教育訓練の強化、全社一丸体制づくり)
77	悪い	製造業(生産財)	6名～10名	福岡地区	ネット販売の拡大
78	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡県外	テイクアウトや EC サイトを作成
79	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	オンライン授業の準備
80	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	当社商品の販売先の拡大。スーパーや道の駅。
81	非常に悪い	サービス業(対個人)	11名～20名	北九州地区	脱居酒屋
82	非常に悪い	サービス業(対個人)	31名～50名	福岡地区	デリバリー、テイクアウトの強化。
83	非常に悪い	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡地区	EC モールへの参入

84	非常に悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	ブライダルヘアメイク事務所だったが、コロナ禍の回復の見通しがつかず将来にかなりの不安があった。従業員と相談し、景気に左右されない美容室の新規オープンに踏み切った。結果スタッフは離れることなく雇用を継続。今後両立を図った増収増益を目指す。
85	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新商品導入
86	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	リアルからオンラインへ商品移行をすすめている
87	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新たに協力会社との連携火事やボヤ等の現場の処理
88	非常に悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	新規の取り扱い商材
89	非常に悪い	サービス業(対事業所)	21名～30名	県南地区	ネット通販の開始
90	非常に悪い	製造業(消費財)	11名～20名	筑豊地区	DXに力を入れている
91	非常に悪い	製造業(消費財)	21名～30名	福岡地区	自社製品による開発を行いその為に事業再構築に申請し採択される。
92	非常に悪い	製造業(生産財)	11名～20名	福岡地区	・直販店舗のオープン・インターネット販売の強化・経営理念の浸透